

ノロウイルス等の感染を予防するために

～利用者のみなさまへ～

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、人の腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。従って、感染予防対策として、以下の点について留意されるようお願いいたします。

- 食事の前やトイレの後、野外炊事の時などは、必ず手を洗いましょう。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱わないようにしましょう。
- 感染性胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便やおう吐物を適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

◎手洗い・うがい

食事の前やトイレの後、また、野外炊事などで調理をする前などには、必ず手を洗うようにしてください。

●手洗いの基本

- ① ハンドソープや石けんを使い、十分にこすり洗いをしましょう。
- ② 手洗い後の手拭き用タオルやハンカチは個人用のものを利用しましょう。

●汚れが残りやすいところ

- ・ 指先やつめの間 ・ 指の間 ・ 親指のまわり ・ 手首 ・ 手のしわ

※ 各トイレに掲示してある、流水による手洗いの手順を参考にしてください。

●うがいのために

- ・ うがい用のコップを用意してください。（個人用）

◎排泄物・おう吐物の処理

ふん便やおう吐物の処理は、処理をする人自身への感染や、他の人たちへの感染拡大を防ぐために、適切な方法で、迅速・確実に行なってください。（おう吐があったときは、必ず事務所に連絡してください。）

※ 各階男子トイレに処理セットが備え付けてありますので、利用してください。

●処理の手順

処理時およびその後は、窓を開けるなど換気を十分に行なってください

- ① 汚染場所には処理者以外の人が近づかないようにする。
- ② 処理をする人は、手袋とマスクを着用する。
- ③ おう吐物全体に新聞紙をかぶせ、塩素系消毒液を噴射。
- ④ しばらく置いた後、ペーパータオル等を使って、外側から内側に向けて、ふき取り面を折り込みながら静かに拭き取る。
- ⑤ 使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れる。
- ⑥ おう吐物が付着していた床やその周辺に塩素系消毒液をかけ、ふき取る。
※ トイレ等の場合は消毒液をかけた後、水で十分に洗い流す。
- ⑦ 処理後は、使った手袋をビニール袋に入れ、しっかりとしばって処分する。

→ ビニール袋は、女性浴室前物干し場にあるポリバケツ（灰色）に入れてください。処理後は十分に手洗いを行なってください。

●換気について

おう吐物の処理後は、大きく窓を開けるなどして、室内に新鮮な空気を入れ換気を行なってください。（換気扇等のある場所では、運転をしてください）

●リネンの処理

トイレに備え付けてある手袋、マスクを着用し、リネン専用のビニール袋（医務室に保管）に入れ、他の方が触れないように館外（浴室前物干し場）に出してください。
処理後は十分に手洗いを行なってください。

◎野外炊事等で調理をするときは

調理者の手を介しての食中毒を防止するために、ハンドソープや石けんで、十分にこすり洗いをしたあと行なってください。また、調理が終わった後は、炊事道具を洗剤で十分に洗い、清潔なふきんで水分をしっかりとふき取ってください。

ノロウイルスは他の微生物などと比べると熱に強く、85℃で1分以上の加熱が必要です。

◎入浴について

下痢やおう吐の症状がある人は、入浴による感染を防止するために、入浴を控えるようにしてください。もし、入浴の必要がある場合には、できればシャワーのみですませてください。

◎トイレの使用について

トイレを利用するときには、必ずトイレ専用のスリッパに履き替えるようにしてください。

お願い

利用前に、事前の健康観察を行い、参加者の健康状態を把握するようにしてください。下痢、おう吐などの体調不良を訴える方がいる場合は、医療機関で診察を受け、医師の判断のもと参加するようにしてください。

利用中に下痢、おう吐などの症状があらわれた場合は、できるだけ早く医療機関で診察を受けるようにしてください。また、すみやかに事務所のほうまで申し出てください。

利用後に、複数の参加者に症状が出た場合は、少年自然の家までご連絡ください。